

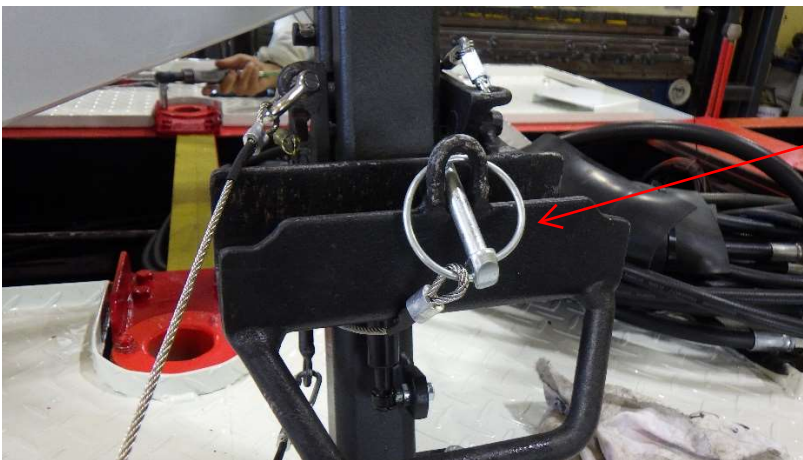
セルフローディングドーリー架台取り扱い注意。

*ドーリータイヤが乗った状態だとワイヤーワークの説明が難しいので無い状態で解説いたします。

本品は当車両に合わせて一部改造していますので使用方法が標準品異なる場合がございますので
使用前に必ずご熟読くださいませ。

ドーリータイヤを降ろす作業

最初に脱落防止ワイヤーを外す(架台開き止めとドーリー固縛も兼用)



ボンピン(ボンネットピン)
でドーリーのサイドレールフック
と架台のフックをロックします。

操作時に脱落の不安がある場合は逆巻きにロックをかけ直してください。

*右側面に固定部が有り、奥から反時計回りでワイヤーを回してボンピンロックで走行時ロック

*ロックの解除(ドーリー降ろす時)は反対へ巻き戻してロックすればドーリーは固縛状態です。

斜め上から見たワイヤーの固縛イメージ

ワイヤーを奥から反時計回りに回す事でリンクフレーム
が開かない様にします。

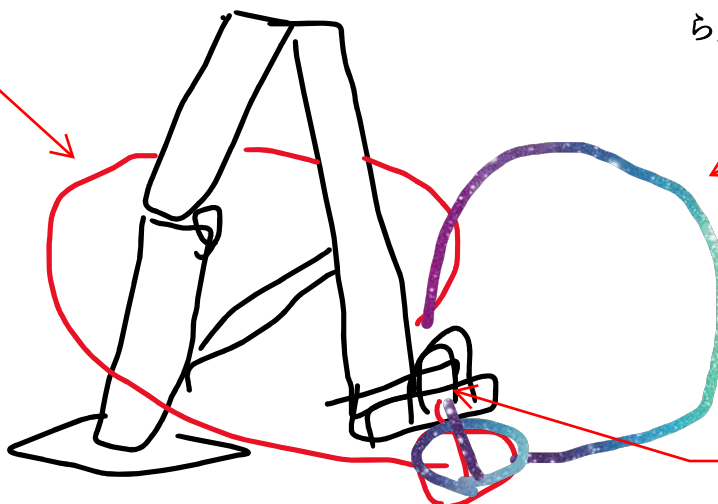
走行時はワイヤーをフレームの後ろか

ら反時計回りで回してボンピンロック

降ろす際はワイヤーを時計回りに
巻きなおして再びボンピンロック

赤がロック時のワイヤー回し。

ボンピンロック





① 上部ロックと平行ロックが同じワイヤで結合されていますので、目的により引く場所が変わる

タイヤを降ろす際は上部ロックの方をワイヤーで引っ張ります

(最初だけ平行ロックを引きながらドーリーを少し持ち上げながら降します、ドーリー架台の中央の取っ手を引くと手前に引き出せます。)

*ロックが解除出来ない時はドーリーの架台自体を奥へ押しながら解除レバーを引いてみてください。

②降ろす際はドーリー架台が下へ降り切きる所まで移動させる

(フレームが床枠にギリギリ当たる位)で固定されます。)

*最下限で固定されない場合は平行ロックがかみ合っていないので平行ロックのワイヤーを引きながら再度、下げてみてください。

③ドーリータイヤを上げる作業(ドーリー搭載の手順)

ドーリータイヤを載せて、上げる際は下記のロックを解除するようワイヤーを引きながら架台の取っ手を上に持ち上げてください(コツが要りますので練習してください)。

平行位置解除ロック



平行ロックされた状態



平行ロックが解除された状態

*解除されない(持ち上がらない)場合は取ってを一旦下へ下げながら操作しながらロックワイヤーを引いてみてください。



後は持ち上げながら上部ロックしてください。

写真ではドーリー載ってませんがドーリーを載せて脱落防止のボンピンでロックした状態での作業なので平行ロックをワイヤーで解除しながら取っ手を持ち上げるの作業の為にコツが必要なのでドーリーを載せる前に練習が必要なのですが「ドーリーが乗っていない無負荷状態」だと平行リンクが上に持ち上がるので「下押さえるイメージ?での操作が必要」なのでご注意の事。

以上です。